

# おながわ みらいふ。

[Onagawa Me Life]

特集

## みんなの思い描く女川ライフ

「これからの暮らしに関するアンケート」集計結果発表！

女川スケッチ  
高台宅地の魅力

つながるおなが輪

夢の家づくり講座 家づくり1・2・3  
ワンツースリー

第2回『ライフスタイルから住宅をイメージしよう』

描いてみよう！

『理想の間取りイメージ』

暮らしと  
住まいの情報誌

vol.2  
March 2015

おながわちょう  
女川町  
ONAGAWA TOWN

## 描いてみよう！理想の間取りイメージ

部屋の広さや配置の本格的なプランを作る前に、欲しい部屋やスペースを書き出した間取りイメージ図を作ってみると、家族の理想を確認できるだけでなく、工務店さんやハウスメーカーさんにプランの希望を伝えやすくなります。

用意するもの

- ペン ● はさみ
- 「理想の間取りイメージ」台紙 または大きめの紙

「理想の間取りイメージ」台紙は  
女川町のホームページからフォーマットを  
ダウンロードできます。

<http://www.town.onagawa.miyagi.jp/saiken.html>



### STEP 1

家族で相談しながら欲しい部屋や  
必要な部屋を書き出してみよう

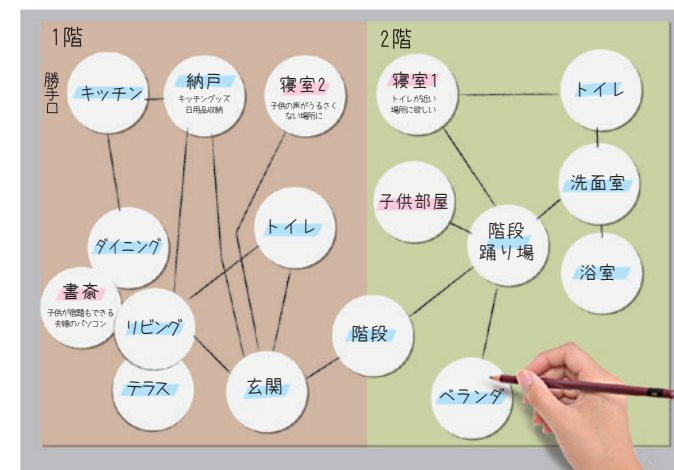
日常生活に必要なキッチンやリビング、自分の趣味を楽しめる個室など「あんなスペースが必要」「こんな部屋が欲しい」というように、まずは思いついた部屋名を、どんどん紙に書き出してみましょう。ある程度出そろったら、みんなで使う空間、プライベートな空間を色分けして、ひとつひとつ丸く切りとっていきます(左の図では、青いマーカーがみんなで使う空間、赤いマーカーがプライベートな空間です)。



### STEP 2

どんな風に暮らしたいかを想像しながら、  
1階・2階に分けてみよう

1階・2階と家の敷地に見立てた紙の上に部屋名を書きこんだ丸い紙を並べてみましょう。一般的には1階にみんなで使う空間、2階にプライベートな空間を設けますが、部屋の使いみちを意識しながら、ひとまず自由に配置してみます。



部屋と部屋を線で結んで、  
暮らしやすい『動線』を考えてみよう

各部屋の配置を考えながら、線で結んで部屋から部屋への『動線』を考えてみます。「この配置だと、リビングからお風呂やトイレがちよっと遠いかな」「洗濯場から物干しのベランダまで近いと楽だな」など、シミュレーションを重ねていくと、段々と「いいところ」「わるいところ」が整理され、理想の間取りイメージが見えてきます。

この間取りイメージを持って、工務店さんやハウスメーカーさんに相談してみましょう！設計をする側にとっても、家族の思いや希望が明確に分かり、希望に添ったプランがつくりやすくなります。家族の理想を叶える家づくりをどうぞ楽しんでください！

おながわみらいふ vol.2 2015年3月発行  
発行元 女川町役場 復興推進課 復興土地利用係 〒986-2261 宮城県牡鹿郡女川町女川浜字大原316(仮設庁舎) TEL 0225-54-3131(内線239)  
企画・編集 株式会社URリンケージ

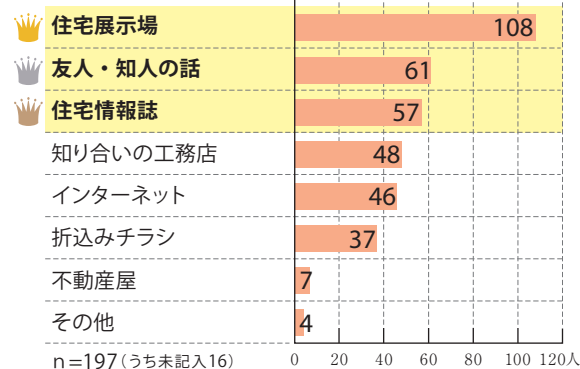
本情報誌は女川町ホームページ(<http://www.town.onagawa.miyagi.jp/saiken.html>)でもご覧いただけます。  
※本誌掲載記事の無断転載を禁止します。



おながわちょう  
女川町  
ONAGAWA TOWN



## 家づくりの情報入手先 (複数回答)

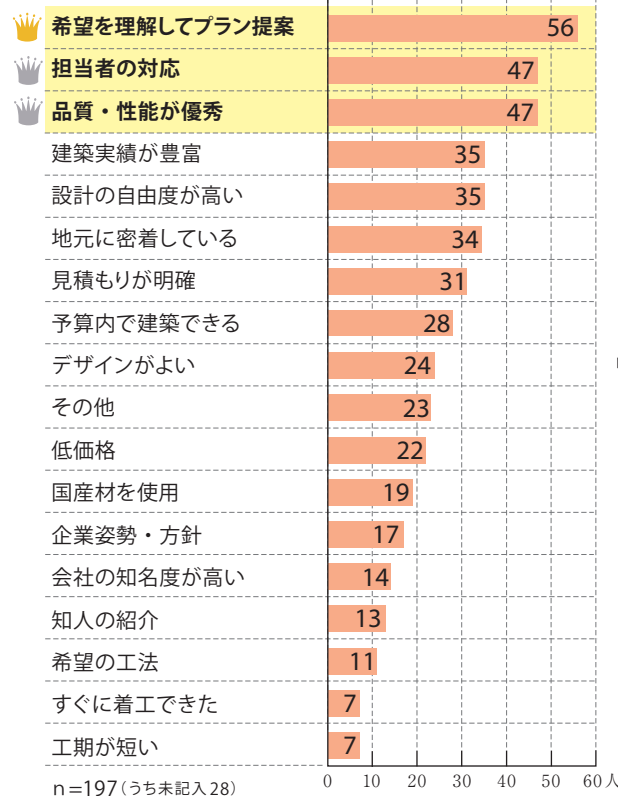


## 3 実際に見て触れてみなければ分からない！ 家づくりの情報は住宅展示場で入手が多数！

家づくりに関する情報は、「住宅展示場で入手している」というご意見が圧倒的でした。住宅情報誌を見ているだけでは、なかなか分からないことも多いですね。実際にさまざまなモデルハウスを見学したり、家づくりのプロから話を聞いてみると、理想とする住宅の具体的なイメージがつかみやすくなります。

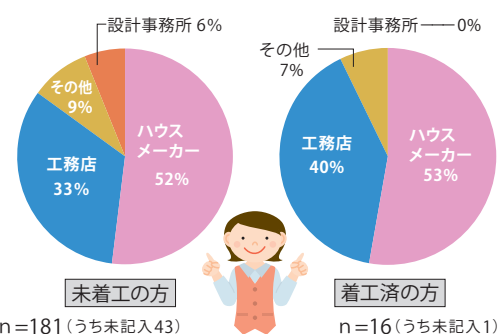
続いて「友人・知人の話を参考にしている方も多くいらっしゃいました。同じ町で家づくりを進める方々が情報交換できるコミュニティの場に参加したり、自らつくってみるのもいいですね。

## 家づくりパートナーを選ぶときに重要視する点 (複数回答)



## 4 建築依頼先を選ぶ判断基準は人それぞれ。 自分たちに合ったベストなパートナーを選びたい！

### 家づくりパートナー(複数回答)



家づくりにおいては、着工済の方のパートナーには、ハウスメーカーを選んでいた。未着工の方も半数以上がハウスメーカーへの依頼を検討中。また、ハウスメーカー、地域工務店、設計事務所それぞれに特徴がありますが、パートナーを選ぶ上で重要視する点は、「希望を理解してプラン提案」、「担当者の対応」、「品質・性能が優秀」の回答が多くなりました。着工済の方のなかには「震災前からお世話になっていて、こまめに対応してもらえ」という理由から地域工務店に建築依頼をした方も。家は建てたらゴールではなく、完成した後も依頼先との関係は続きます。家づくりで何を重視し、依頼先に何を期待するかを明確にし、納得のいく対応をしてくれるパートナーを選びたいですね。

貴重な声をありがとうございます！  
ごさいました！

女川町の魅力を伺った項目では、新鮮な魚介類や豊かな自然、人とのつながりなど、「生まれ育った町だから、ずっと暮らし続けたい」という女川に対する想いをたくさん聞かせていただきました。

家づくりについては、間取りや庭・外構づくりなど、具体的な工事に関する点のほか、資金計画の立て方や住宅建築補助制度など資金面の情報を求めている方が多いようです。

今後も本誌では、アンケート結果を参考にしながら、みなさまのお役に立てる情報を掲載していく予定です。〴〵りもどそう 笑顔あふれる女川町を合言葉に、家づくり、まちづくりが本格的に大きな一歩を踏み出していきます。これからともに育っていく女川町の魅力を、ひとつひとつ積みあげていきましょう。



ご協力ありがとうございました

# これからの暮らしに関するアンケート 集計結果発表！

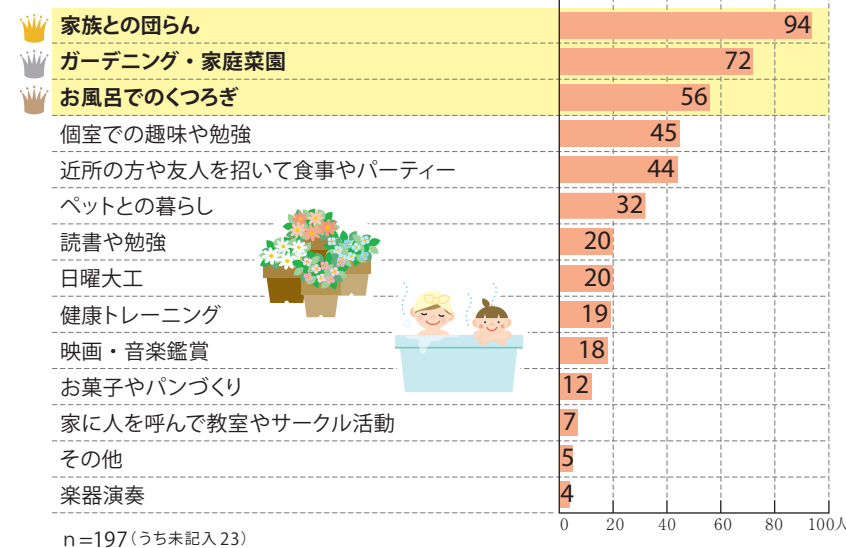
HPへアクセス！  
本アンケート結果は平成26年12月に実施した「これからの暮らし」に関するアンケートより一部を抜粋したものです。アンケート結果の詳細は女川町のホームページでご覧いただけます。



昨年12月に実施した「これからの暮らし」に関するアンケートでは、たくさんの方にご回答いただきありがとうございます。今回はアンケートの集計結果をもとに、みなさまが思い描いている女川町での「これからの暮らし」についてご紹介いたします。先行して家づくりに着手している方々のご意見もいただいていますので、ぜひこれからの家づくりの参考にしてください！

アンケート概要  
〔対象者〕 自立再建8地区に申込み希望の方／荒立西・荒立東(二期)・内山地区に申込済の方／離半島地区にて申込済・申込予定の方  
(平成26年12月末時点) 計383人  
〔返信数〕 197通(51・4%)  
〔実施期間〕 平成26年12月1日～12月31日  
〔回収方法〕 郵送による返送または事前登録窓口にて回収

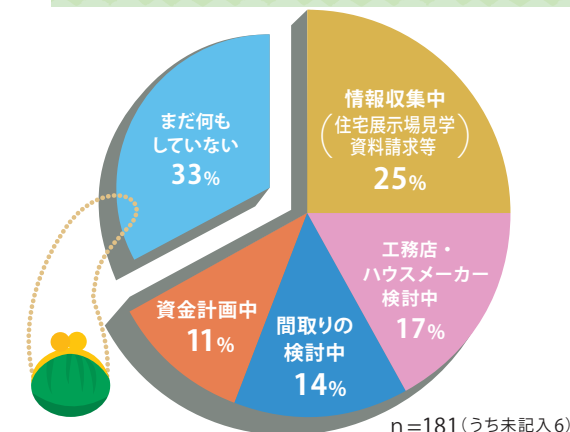
## 入居後の暮らしでしてみたいこと(複数回答)



## 1 入居後は家族との団らんなど、ゆったりと過ごす時間を楽しみに！

入居後の暮らしで楽しみたいこと、それは、「家族との団らん」、「ガーデニング・家庭菜園」、「お風呂でのくつろぎ」という順になりました。「親族が遊びにきたときにものんびりできる家にしたい」など、ゆったりとした時間を過ごすことを楽しみにされている方が多いようです。「ガーデニングコンテストなどがあつたら、はりきって庭づくりします！」といったご意見もあり、今後のまちづくりのなかでそういった輪が広がっていくといいですね。

## 家づくりの進捗状況(複数回答)



※家づくりの進捗状況について「建築着工済」「入居済み」以外と回答された方  
※グラフ内の数値は複数回答による総回答数237を母数とした割合です

## 2 何らかの準備を始めている方が約7割。家づくりに向けて少しずつ前進中！

建築着工前の約7割の方が家づくりに向けた何らかの準備を始められています。

一方で、まだ具体的な行動にはいたっていない方も約3割いらっしゃいました。家づくりはあらゆる面からじっくり検討・確認をしながら進めていくもの。早く始めるほどさまざまな情報に触れられる機会も多くなります。少しでも本誌が家づくりを考え始めるきっかけになれば幸いです。





# 高台宅地の魅力

「高台を活かしたまちづくり」



高低差のある丘陵地の景観を活かした  
多摩ニュータウン（東京都）の街並み



宮ヶ崎地区からの眺望イメージ



清水・日蔵地区の住宅地イメージ



宮ヶ崎地区の区画道路イメージ

新しい季節とともに、いよいよ3月21日に町中心部のまちびらきを迎えました。『女川スケッチ』では、少しずつ彩られていく女川町の様子や、今後のまちづくり、家づくりの参考となる情報をお届けしていきます。

今回は新しい女川町の魅力ともなる高台のまちづくりと、高台宅地の特徴を活かした家づくりの事例をご紹介します。

女川町と同じように高低差のある地形を活かしたまち、東京都の『多摩ニュータウン』は、四市にまたがる丘陵地に開発された日本最大規模のニュータウンです。各宅地が日当たりや眺望をできる限り均等に確保できるように、そして高台からの景観や街並みがこの地を訪れた人の心に残るような風景をつくらうということにも配慮しながら計画されています。

女川町ではさらに、各住宅地に海が見える眺望ポイントと景観軸を設けることで、まちの魅力を最大限に活かすまちづくりを進めています。高台のまちは平坦な土地よりも街並みに変化が生まれ、それぞれに特色ある公園や広場も整備されるため、美しい四季の彩りを感じるこ

## 高台宅地の特徴を活かした家づくり

### CASE 3

家の雰囲気に合わせて材料で装飾し  
一体感を演出

前面道路や隣地への土の流出をふせぐために新たな擁壁をつくる場合、擁壁に自然石やレンガ、つる性植物など家の雰囲気に合わせた材料で装飾をすると、建物と庭に一体感が生まれます。また、その装飾を自身の手で日曜大工で行えば、楽しみながら自分好みの外観をつくることができます。

### CASE 2

プライバシーの確保された  
くつろぎの空間

道路から高低差のある宅地は、リビングでくつろいでいる時など、外からの視線が気にならないという一面があります。そのため、高台から見える景色を楽しみつつ、開放的でありながらプライバシーの確保されたくつろぎの空間を設けることができます。

### CASE 1

植栽や芝生でのり面を仕上げ  
敷地が広く感じられるオープン外構

宅地ののり面を芝生や植栽で緑化すると、土の流出をふせぐことができ、敷地も広々と感じられます。また、敷地を塀や柵で仕切らないことで、眺望を活かした開放的な外構に仕上げるができます。



イメージ

イメージ



イメージ



イメージ

4月より擁壁整備工事の  
補助金がスタート！

女川町が造成した宅地において居住者が行う擁壁設置工事に、補助金が交付されます。補助対象者や対象工事にはさまざまな条件がありますので、詳細は復興推進課 復興土地利用係までお問い合わせください。

荒立西に申込んだのは、やはり年齢的なことも考えて、早く建てた方がいかなと思っただけです。仕事柄、図面を書くことができたので、「こつちに寝室、ここは押入れ、ここにタンスと自分で平面図を書いて、希望を叶えてくれるような地元の工務店に頼むことにしました。

こだわったのは、すべての部屋で十分な明るさが取れるようにしたこと。あとはなんとと言っても見晴らしがいいところ！海の見える景色を活かすため東側に大きな窓を設けたことです。窓辺で海を見ながらパソコンをしたり、夏には家でお酒を飲みながら花火大会も見えるかも！と、とても楽しみにしています。近所のみならずも長く住む覚悟で家を建てているのでしょ

うから、新しい地区で少しずつ人の繋がりをつくったり、交流を深めていくようなこともお手伝いできたらいいでよね。



こだわりの町が二望  
できる見晴らし！  
近所の繋がりも  
つくっていきたい。



浅野さん

ですよね。2本なのは、1本だと少し淋しいから、夫婦で1本ずつという感じがいいかなと思って。何の木にするかはこれからゆっくり考えます。

女川に住み続けようと思ったのは、女川で生まれ育った子どもたちのために「ふるさと」をつくってあげたいと思ったからです。はじめは元々住んでいた家に近い地区を希望していたのですが、女川湾の船の出入りや町全体が見える眺望と、夫婦2人で住む家ですから、多少小さくても住めば都になるかなと思い荒立西に申込みました。家づくりでこだわったことといえば、家内の腰がわるいので、平屋でバリアフリーにしてみました。玄関アプローチをゆるやかに、中もフラットにして手すりも多く設けました。あとは、せつかく家を建てたので、シンボルツリーを2本植えようかと思っています。私たちが歳を重ねると一緒に木も大きくなって、いずれ子どもたちが住むような日が来たら、立派なシンボルツリーになっていると思うん



子どもたちのための  
ふるさとに。  
2本のシンボル  
ツリーのある家。



吉野さん

女川町に住まう人、愛着を持つ人の輪をつないでいくため、みなさまにさまざまなお話を伺っていききたいと思っています。今回は、荒立西地区で家づくりを進めるお一人をご紹介します。





# 家づくりのステップ

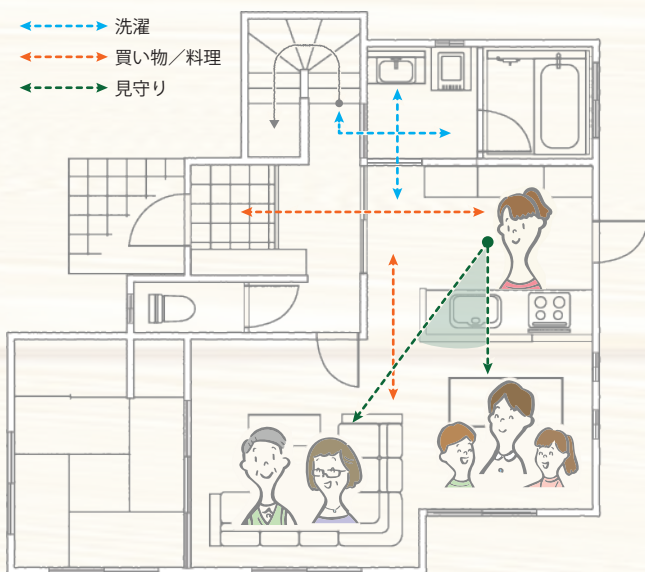
- 1 \* 土地を選ぶ  
↓
  - 2 \* ライフスタイルを考えよう  
\* ライフスタイルから住宅をイメージ  
↓
  - 3 \* 住宅展示場やモデルハウスを見てみよう  
↓
  - 4 \* 資金計画をシミュレーション  
↓
  - 5 \* 家づくりのパートナーを選ぶ  
↓
  - 6 \* 間取り・プランを検討する  
↓
  - 7 \* 建築着工  
↓
  - 8 \* 完成、新しい生活のスタート!
- ✓ チェックされたステップはバックナンバーで取りあげています

このページ

## チェックポイント 4

### 暮らしやすい『動線』から 部屋の配置を考えよう。

長く快適に暮らし続ける家づくりのため、家族の動きや居場所、生活の『動線』をイメージしながらそれぞれの部屋のつながりを考えます。特に「洗濯」「掃除」「食事」など毎日することは効率的に行いたいもの。「洗濯し、干して、しまつ」「食料品を買ってきて保管し、調理・盛りつけて、食べて、片づける」など、一連の動作から収納まで、効率を考えて目的の場所を近づけたりとまとめる工夫をしましょう。

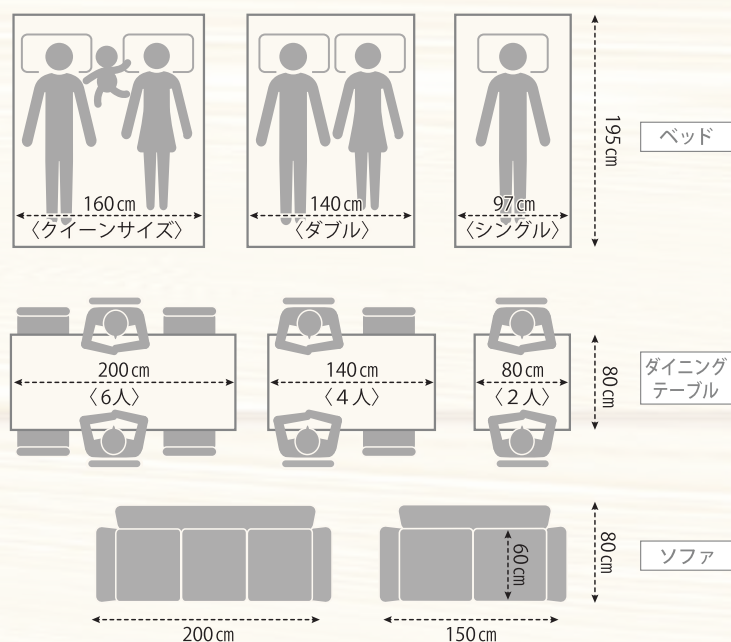


## チェックポイント 3

### 家具や収納などの配置や サイズもイメージして 部屋の広さを考えよう。

間取りを検討する際には、大型の家電や家具、収納スペースなどのサイズも部屋の一部として考えましょう。部屋に置くもののサイズを認識していないと「ソファを置いたらリビングが思ったより狭くなってしまった」「キッチンにモノが多くなって使いづらい」などの問題がおきてしまいます。家電や家具のカタログ、雑誌などを参考にさまざまなもののサイズを把握しておきましょう。

主な大型家具のサイズ(目安)



## チェックポイント 2

### 『みんなで集まる団らんスペース』 『自分の時間を楽しむ個室』など 部屋の使い方を考えよう。

住宅の機能は大きく「家族が集って使う空間」「個人的に使う空間」「トイレやキッチンなど生活に必要な空間」の3つに分けることができます。注文住宅の場合は自分の暮らしを想像し、使い方を考えながら部屋を設けていくことができますが、規格型の住宅を選択した場合、各部屋の機能や使い方を明確にする必要があります。使い方を考えずに建築してしまうと、後から寝室にしようと思ってもベッドが入らないといったことが発生してしまいます。



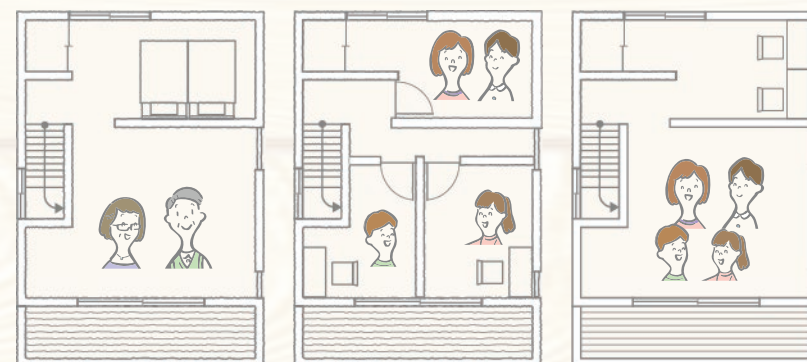
## チェックポイント 1

### 本当に必要な部屋数は？ ライフスタイルの変化から 想像してみよう。

家族それぞれの個室やリビング、客間など、かつては部屋数を重視した家づくりが主流でしたが、「子どもが独立したら物置部屋になってしまった」「個室を増やしたら開放感がなくなってしまった」などの声も多く聞かれます。家族構成の変化によってライフスタイルも変わり、最適な部屋数も変わっていきます。最近では、壁の代わりに開閉式の間仕切りや可動式の家具で部屋を区切るなど、はじめから部屋の間取りを変更できるようにしたつくりの住宅も増えていきます。

子どもが独立したら...

子どもが成長したら...



# ライフスタイルから 住宅をイメージしよう

家族構成やライフスタイルによって、理想的な間取りは人それぞれ。家族の希望を詰め込んで、わが家の間取りをどうつくるかは家づくりの楽しさでもあります。もともと悩むところでもあります。間取りは建築費にも直接関係し、家が完成してからではなかなか大きな変更ができません。その後の生活を左右する大切な要素です。希望をすべて叶える間取りを実現するのは、土地の条件や予算の制約があつて難しいかもしれませんが、どのように暮らしたいかを想像しながらこれから建てる住宅をイメージしてみると、何を優先すべきかが見えてきます。家族で希望を出し合い、優先順位をつけて整理することは、家づくりのどのステップにおいても重要になります。

今回は自立再建の事前登録受付を終え、次のステップとなる住宅の間取りを考えるとときに押さえておきたいチェックポイントをご紹介します。昨年実施した「これからの暮らし」に関するアンケートでは「家づくりの情報は住宅展示場から入手する」という方が多くいらっしゃいましたが、このチェックポイントを把握しておくことで、これから住宅展示場やショールームなどを見る視点も変わってくるはずです。大切なポイントを理解して、希望の暮らしを叶える家づくりを楽しみましょう。

# 夢の 家づくり講座 家づくり1・2・3 VOL. 02